

**製品名: NBPF1/9/10/12/14/15/16/20 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab14424**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	36kDa

## 抗原情報

遺伝子名	NBPF12 NBPF12; COAS1; KIAA1245; Neuroblastoma breakpoint family member 12; Chromosome 1
別名	amplified sequence 1; NBPF10; Neuroblastoma breakpoint family member 10; NBPF16; Neuroblastoma breakpoint family member 16; NBPF1; KIAA1693; Neuroblastoma brea
遺伝子 ID	55672/400818/284565/25832
SwissProt ID	Q5TAG4/Q6P3W6/Q5SXJ2/Q3BBV0/Q3BBW0/Q3BBV1/Q8N660/Q5TI25
免疫原	抗血清はヒト NBPF1/9/10/12/14/15/16/20 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸 範囲: 121-150

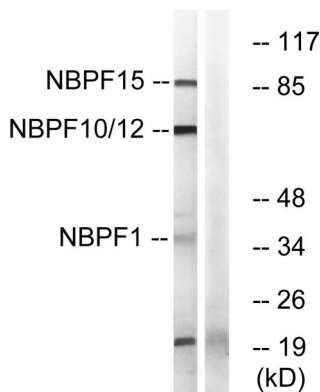
## 背景

この遺伝子は、神経芽腫ブレイクポイントファミリー（NBPF）のメンバーであり、主にヒト1番染色体上の分節重複に位置する、最近重複した数十の遺伝子で構成されています。この遺伝子ファミリーは、ヒト系統内で最も大きく拡大し、霊長類全般にも、より小規模ながら拡大しています。この遺伝子ファミリーのメンバーは、DUF1220 タンパク質ドメインのタンデム反復コピーを特徴とします。ほとんどのDUF1220ドメインが位置するヒト染色体領域1q21.1における遺伝子コピー数変異は、小頭症、大頭症、自閉症、統合失調症、精神遅滞、先天性心疾患、神経芽腫、先天性腎・尿路異常など、多くの発達性疾患および神経遺伝性疾患に関連していることが示唆されています。一部の遺伝子ファミリーメンバーの発現変化は、いくつかの種類の癌に関連しています。その他：染色体1のp36、p12、q21領域にクラスター化されたNBPF遺伝子の多数のコピーの1つによってコードされています。類似性：NBPFファミリーに属します。類似性：10個のNBPFドメインを含みます。類似性：2個のNBPFドメインを含みます。類似性：3個のNBPFドメインを含みます。類似性：6個のNBPFドメインを含みます。類似性：7個のNBPFドメインを含みます。類似性：8個のNBPFドメインを含みます。組織特異性：神経芽細胞腫細胞株で発現します。組織特異性：脊髄で発現します。組織特異性：脾臓と胎児肝臓で発現します。組織特異性：乳腺で発現します。組織特異性：より高頻度に普遍的に発現します。乳房および肝臓で発現が観察される。神経芽腫細胞株でも発現する。組織特異性：広く発現する。弱い発現を示す唯一の組織は腎臓である。、

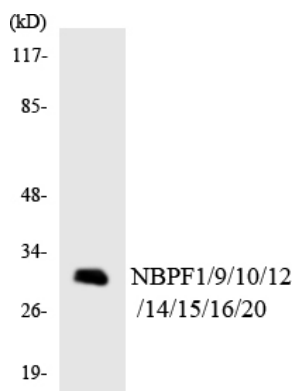
## 研究分野

-

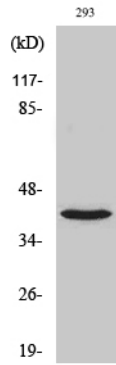
## 画像データ



NBPF1/9/10/12/14/15/16/20抗体を用いた、293細胞、HepG2細胞、Jurkat細胞、およびCOLO細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NBPF1/9/10/12/14/15/16/20抗体を使用したHT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NBPF1/9/10/12/14/15/16/20 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析